



ローレル



県立日立第一高等学校  
附属中学校  
学校だよりNo.162  
令和8年1月9日  
生徒数240名

教育目標:高い志を持ち、優れた資質と豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献する人材を育成する。

1月

「自由」について考える

校長 細貝 雅之

4月に日立一高と附属中の校長として赴任し、9か月がたちました。この学校の伝統のすばらしさを改めて感じるとともに、ややもすると私たちは、それが当たり前になって、深く考えずに生活しているのではないか、ということもあります。今日は、日立一高の校風である「自由」と「自律」について、18世紀ドイツの哲学者カントの思想を手掛かりに、深掘りしてみたいと思います。

明日は学校が休みです。太郎さんは、寝たいだけ寝て、食べたいときに食べて、ゲームをやる、スマホをいじる、一日やりたいことをやって過ごします。花子さんは、自分でスケジュールを決めて、決めたとおりに起きて、勉強して、食事をして、計画通りに過ごします。さて、二人のうちで自由なのは、どちらでしょう。

カントの答えは決まっています。自由なのは、花子さんです。

太郎さんは、快楽を求めるという欲望に動かされているだけ、すなわち自然法則に従っているだけで、そこに「自由」はありません。一方で、花子さんは、意志の力により本能の誘惑を断ち、自分の行動をコントロールしています。動物は自然の法則にしたがい、欲望のままに行動しますが、人間は、良心の声を聴き、義務の念を抱き、自らの理性が命じることに従って生きることができます。その、「意志の自律」こそが人間の「自由」の根拠であり、そこに、人間の尊厳があるとカントは言うのです。欲望のままに生きるのは自由ではない、自らの意志の命令に従って自らを律することが自由なのです。自主自律の自由な校風、というのは、それができる人が集まっている、ということです。

3年生の皆さんは、もうすぐ高校生になります。中学生から見ると高校生は「自由」に見えるかもしれませんが、その分、「自律」が求められます。1、2年生も、もうすぐそれぞれ進級し、後輩たちが入学してきます。「自由」と「自律」の意味を、後輩たちに態度で示せるよう、残り3ヶ月、自覚を持って生活してほしいと思います。

### 《生徒会立会演説会および選挙を行いました》

12月15日(月)に「中学生徒会立会演説会および選挙」を行いました。多くの生徒が立候補をし、「学校を自分たちで創っていく」という強い意欲が見られました。立候補者の演説はもちろん責任者の紹介も素晴らしかったです。



### 1月の主な予定

7日(水) 休み明け集会  
8日(木) 委員会活動  
9日(金) 3時間授業  
(12:10 下校、給食・部活なし)  
10日(土) 中学入試適性検査  
12日(月) 成人の日  
13日(火) 入試事務のため自宅学習  
14日(水) 入試事務のため自宅学習  
15日(木) 外部模試(1～3年)  
16日(金) 外部模試(3年のみ)  
20日(火) 入試事務のため自宅学習  
21日(水) 入試事務のため自宅学習  
29日(木) 第4回定期考査(～30日まで)  
第3回PTA総務委員会

### 2月の主な予定

5日(木) 委員会活動  
6日(金) 3年午前中授業(給食あり)  
7日(土) いばらきっ子郷土検定県大会  
8日(日) 3年シンガポール語学研修  
(～13日まで)  
10日(火) 第2回PTA全体委員会  
11日(水) 建国記念の日  
16日(月) 3年振替休業日(2/11分)  
20日(金) SSH成果発表会  
23日(月) 天皇誕生日  
25日(水) 3時間授業  
(12:10 下校、給食・部活なし)  
26日(木) 高校学力検査のため自宅学習  
27日(金) 高校学力検査のため自宅学習

### 《附属中生 活躍の記録》

#### ◆茨城県アンサンブルコンテスト県大会◆

《中学生の部》中学生が出場

木管八重奏：銅賞

《高校生の部》高校生と一緒に中学3年生が出場

サクソフーン八重奏：銀賞 打楽器七重奏：銀賞 フルート四重奏：銅賞

#### ◆第69回 茨城県児童生徒科学研究作品展◆

つくば科学万博記念財団理事長賞

「変態」の研究～キアゲハの蛹化から羽化までのフンから～ 1年

#### ◆第61回 JA共済茨城県小・中学生書道コンクール◆

佳作 3年

#### ◆第26回 いばらき児童生徒地図作品展◆

最優秀 受けとって！水害の記憶～大子町の自然災害伝承碑を訪ねて～ 1年

優 秀 関東一涼しい北茨城市を大調査！～チャンス到来！自然がもたらしてくれた町おこし案件～ 1年

佳 作 1年 7人

#### ◆第28回 げんでん科学技術振興奨励賞◆

「水害を防ぐのに適した霞堤の研究について」 科学部 little scientists

### 《いばらきっ子郷土検定 県大会出場》

茨城県教育委員会では、郷土への愛着や誇りを高め、郷土愛を醸成するとともに広く本県の魅力発信を図るために、「いばらきっ子郷土検定」を毎年実施しています。

10月下旬に県内の中学2年生が一斉にチャレンジした「いばらきっ子郷土検定」の結果が先日発表され、本校の2年生が県立・国立・私立卒の代表として県大会に出場することになりました。7年連続になります。

県大会は、県内市町村代表校44校と国立・県立・私立の代表校1校(本校)の計45校の参加により、2月7日(土)に開催されます。ぜひ好成績を収めてほしいと思います。応援よろしくお願いいたします。